

東アジア学会活動記録

【2014年】

1. 第24回大会「東アジアの共生と発展」国際会議

期 間：2014年8月23日（土）～8月24日（日）
会 場：中国長春・吉林大学・匡亞明楼第一会議室
主 催：東アジア学会・吉林大学東北アジア研究院・吉林大学日本研究所（共同開催）

第1日目（8月23日）

■開会式（9:00～9:15）

司会者：龐 徳良（吉林大学東北アジア研究院副院長・吉林大学日本研究所所長）
開会挨拶：于 瀟（吉林大学東北アジア研究院院長）
：徳島千穎（東アジア学会会長・トクスイコーポレーション代表取締役会長）

■基調講演（9:15～9:55）

司会者：龐 徳良（吉林大学東北アジア研究院副院長・吉林大学日本研究所所長）
講演者：李 薇（中国社会科学院日本研究所所長）
テーマ：「現在の日中関係について」
講演者：小川雄平（西南学院大学商学部教授・大学院経営学研究科科長）
テーマ：「東北アジアの地域経済協力と平和的共存」

■第1セッション：政治と外交（10:15～11:35）

司会者：張 慧智（吉林大学東北アジア研究院副院長・教授）
報告者：木村 貴（九州国際大学法学部准教授）
テーマ：「在日韓国人スパイねつ造事件と日本一特別永住権の再付与問題を中心に一」
報告者：沈 海濤（吉林大学東北アジア研究センター副主任・教授）
テーマ：「安倍主義の外交動向と展望に関する分析」
報告者：宋 鎬民（久留米大学講師）
テーマ：「世界環境首都を目指す日本・北九州市と韓国・チェジュ（済州）特別自治道の取り組みに関する一考察」
報告者：張 玉国（吉林大学日本研究所准教授）
テーマ：「朴槿恵“ドレスデン構想”と朝鮮半島統一問題」
討 論：総田芳憲（立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部教授）
：巴 殿君（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所所長・教授）
：高 科（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所教授）

■第2セッション：経済と地域協力（13:30～14:50）

司会者：呉 昊（吉林大学東北アジア研究院副院長・教授）
報告者：王 忠毅（西南学院大学商学部教授）
テーマ：「日韓多国籍企業の国際生産分業と企業パフォーマンス」
報告者：龐 徳良（吉林大学東北アジア研究院副院長・吉林大学日本研究所所長）
テーマ：「吉林省におけるリード産業の対日協力に関する分析」
報告者：喬 晋建（熊本学園大学商学部教授）
テーマ：「富士康の経営戦略」

報告者：藤川昇悟（阪南大学経済学部准教授）
テーマ：「日系自動車メーカーのグローバル展開と東北アジアの自動車産業クラスターの成長 — 日本九州と中国東北部を中心に — 」
報告者：朱 永浩（環日本海経済研究所研究主任）
テーマ：中口鉄道輸送通路の発展現状と問題点
討論：木幡伸二（福岡大学商学部教授）
：陳 志恒（吉林大学東北アジア研究院世界経済研究所所長・教授）
：任 維彤（吉林大学東北アジア研究院講師）

■第3セッション：歴史と文化（15：10～16：30）

司会者：陳 景彦（吉林大学東北アジア研究院歴史文化研究所教授）
報告者：戴 宇（吉林大学東北アジア研究院歴史文化研究所教授）
テーマ：「日本戦後史の再考」
報告者：申 美仙（久留米大学講師）
テーマ：「1910年代の韓国における日本文学の受容 — 『毎日申報』を中心に — 」
報告者：金 晶晶（九州大学比較社会文化学府博士後期課程）
テーマ：「満州における朝鮮人詩人たちのモダニズム詩 — 『満鮮日報』との関係性をめぐって — 」
討論：安達義弘（帝京大学文学部教授）
：衣 保中（吉林大学東北アジア研究院地域経済研究所教授）

■第4セッション：閉会式（16：30～17：20）

司会者：沈 海濤（吉林大学東北アジア研究センター副主任・教授）
特別講演：徳島千穎（東アジア学会会長・トクスイコーポレーション代表取締役会長）
総括：沈 海濤教授

第2日目（8月24日） “東アジアの共生と発展” 国際会議 — 若手論壇

■開会式（9：00～9：20）

司会者：龐 徳良（吉林大学東北アジア研究院副院長・吉林大学日本研究所所長）
開会挨拶：李 玉潭（吉林大学東北アジア研究院・吉林大学日本研究所教授）
：小川雄平（西南学院大学商学部教授・大学院経営学研究科科長）

■第1セッション（9：40～10：20）

司会者：陳 治国（吉林大学東北アジア研究院世界経済研究所准教授）
報告者：藤本穰彦（九州大学大学院工学研究院環境社会部門特任助教）
テーマ：「地域小水力発電クラスターの生成 — インドネシアからの展望 — 」
報告者：猿渡 剛（九州大学大学院経済学府助教）
テーマ：「東南アジアの FTA と白物家電産業」
報告者：馬 学礼（吉林大学東北アジア研究院世界経済専攻博士課程）
テーマ：「地域政治ゲーム視点における TPP」
報告者：張 鑫（吉林大学東北アジア研究院世界経済専攻博士課程）
テーマ：「金融危機後における日本量的緩和の貨幣政策の比較」

■第2セッション（10：30～11：10）

司会者：徐 博（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所講師）
報告者：王 玉強（吉林大学東北アジア研究院 歴史文化研究所准教授）
テーマ：「第二次世界大戦における日本戦争犯罪に関する米国国会の立法研究」

報告者：荒木雪葉（西南学院大学博士研究員）
テーマ：「台湾の小学校の言語教育における道徳教育 — 学習指導要領を通して — 」
報告者：李 永強（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所博士課程）
テーマ：「安倍政権の内政外交における女性問題の逆説について」
報告者：官 盼盼（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所修士課程）
テーマ：「アジア安全と協力の新しい構造 — CICA サミットメカニズムの見直し — 」

■第3セッション：閉会式（11：10～11：50）

司会者：張 景全（吉林大学東北アジア研究院国際政治研究所教授）
自由発言
総括：張 景全教授

2. 定例研究会

第63回定例研究会

日時：2015年3月14日（土）13：30～17：30
会場：西南学院大学・西南コミュニティセンター2階会議室
第1報告：荒木雪葉（西南学院大学博士研究員）
「教科書に見る戦後台湾の道徳教育の変遷 — 「孝」「和平」を中心に — 」
第2報告：李 尚原（釜慶大学日語日文学部講師）
「日本語における再帰構文について」
第3報告：呂 春（吉林省海洋房産地開発有限公司董事長）
「中国長春の不動産市況をどう見るか」

3. 「東北アジア文化学会」（韓国）との学術交流

2013年年5月に交流の覚書を交わした東北アジア文化学会との学術交流の一環として、東北アジア文化学会の大会を、東アジア学会との共催という形で、2014年5月24日に西南学院大学にて開催した。

4. 学術交流協定の締結

東アジア学会（日本福岡）、東北アジア文化学会（韓国釜山）及び吉林大学東北アジア研究院（中国長春）の3団体が学術交流と相互の協力関係に関して合意に至り、学術交流に関する覚書を交換した。

日付：2015年3月13日（金）
日本側代表：徳島千穎（東アジア学会会長）
韓国側代表：南 松祐（東北アジア文化学会会長）
中国側代表：于 瀟（吉林大学東北アジア研究院院長）